

■教育目的

医学における臨床検査の意義と臨床検査技師の使命および役割を理解し、加えて検体の採取法とその取り扱い方を習得するとともに、さらに患者の心理等についても理解を深めることを目的とする。

【卒業認定・学位授与の方針：SD-① SD-② SD-③】

■学習到達目標

1. 臨床検査技師としての倫理・規範的知識を理解する「知識、技能」
2. 臨床検査の一般的概念、医療上の重要性、臨床検査技師の役割などを理解する「知識、技能」
3. 臨床検査技師として業務を遂行する上で必要な医療体系と各種制度を理解する「知識、技能」
4. 臨床検査技師が担当する具体的な業務内容を理解する「知識、技能」

■準備学習（予習・復習）

予習：シラバスの授業内容に該当する教科書・参考書の記載に目を通しておく（30分以上）

復習：授業プリントにもう一度目を通し、授業内で触れたキーワードを中心に発展的に自分で調べてみる（10分）

■授業形態

講義

■授業内容

臨床検査の医療における重要性と臨床検査技師の果たす役割をとともに、臨床検査の主たる業務内容とその基礎について広い視野から学習する。

No.	項目	授業内容	備考・SBOコード
1	医療と臨床検査	臨床検査の種類、臨床検査の役割、検査材料について	F-(1)-③-1～15 F-(4)-①-1～9
2	医療制度と臨床検査技師	医事法規、関連法規、業務等について	F-(1)-③-1～15 F-(4)-①-1～9
3	臨床検査の基礎	臨床検査技師の役割と検査の進め方について	F-(1)-③-1～15 F-(4)-①-1～9
4	検体の取り扱い1	血液、尿、糞便の採取と取り扱いについて	E2-(3)-③
5	検体の取り扱い2	喀痰、咽頭ぬぐい液、胃・十二指腸液の採取と取り扱いについて	E2-(3)-③
6	検体の取り扱い3	脳脊髄液、体腔液、関節液の採取と取り扱いについて	E2-(3)-③
7～8	採血	採血の仕方による検査値への影響について	E2-(3)-③
9～10	検査の自動化と管理	自動分析装置の管理と精度管理について	F-(1)-③-1～15
11	臨床心理学の基礎	臨床心理学とは、検査を受ける人の心理、疾病の告知について	A-(3)-① A-(4)-①
12	年代別にみる患者の心理	乳幼児・児童期・高齢者の心理、終末医療における患者の心理について	A-(3)-① A-(4)-①
13	一般検査学・尿検査1	採取法、定性検査、定量検査	E1-(2)-②-1 F-(1)-③-1～15
14	一般検査学・尿検査2	尿沈渣	E1-(2)-②-1 F-(1)-③-1～15
15	一般検査学・体腔液検査	体腔液の採取法と検査について	E1-(2)-②-1 F-(1)-③-1～15

■授業分担者

櫻井 進(No.1～2)、柿木 孝志(非常勤講師)(No.3～10、13～15)、村上 弘子(非常勤講師)(No.11～12)

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

課題提出(100%)にて成績評価する。成績評価で基準点を超えた者に単位を認める。

■教科書

必要に応じてプリントを配布。

■ 参考書

「最新 臨床検査学講座 関係法規」(医歯薬出版)。「最新 臨床検査学講座 一般検査学」(医歯薬出版)。